

広報

やまと 77/4

—町の人口—

4月1日現在		前月比
男	13,965	-39
女	14,154	-62
計	28,119	-101
世帯数	6,139	0



春うらら

町民サイクリング大会

4月3日、町民サイクリング大会が柿岡と高浜を結ぶ全長17・2キロの恋瀬川サイクリングコースで行われました。

参加したのは、自転車を愛する小中学校の生徒や父兄それに青年男女など約100名の人たち、当日はちょっと風が冷めたい一日でしたが、天気は上々とあって、全員元気にさわやかな春のサイクリング気分を満喫しました。

このサイクリング大会は、町のサイクリング連盟と教育委員会の共催、ライオンズクラブの後援で実施されたものです。

今月号のごあんない

施政方針と52年度の予算	2・3P
予算の使い道、議会だより	4・5P
<みんなの公民館>郷土をよくする研究集会	6P
スポーツ調査から、あなたのスナップ	7P
写真サロン、明るい窓	8P
サークル紹介、わが家の味	9P
文化財散歩、やまと文芸	10P

あっとあぶない、あの道この道交差点

有明中2年
鈴木信代

上記の作品は、町交通安全教師の会によって募集された交通安全標語のうち、最優秀作品に選ばれたものです。

昭和五十二年度予算のあらまし

重点は農林業の振興、教育、土木

予算額は特別会計を合わせ40億円に



施政方針

昭和五十二年度各会計の予算編成にあたり、町政運営に対する所信の一端を申し上げ、町民のみなさまにご理解とご協力をお願い申し上げます。

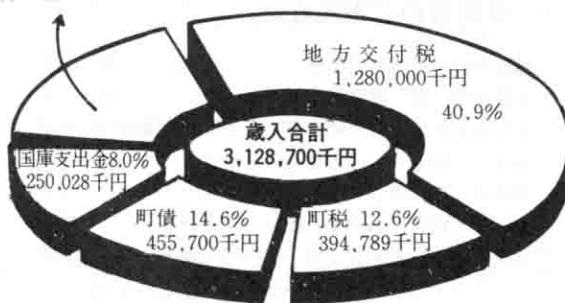
私は、地方自治とは、住民に対してサービスの還元業務をいかに合理的に、能率的に行うか、ということがだと認識しております。私はこのような考え方のもとに、町政担当以来、常に「生活環境を整備し、暮しよい八郷町の建設」を施策の基本方針として町政の運営に当つてまいりました。

このような状況の中で多様化する施策の推進に当つては、独断にならないよう町民のみなさ

要望等を伺い、これらを参考として適切な事業の選択と執行に努力を重ねてまいりました。

しかし、町の財政には自ら限度がございます。地方自治体の財政状況は、変動の激しい経済社会の推移にかんがみ、一方で住民負担の軽減合理化を迫られ、一方で財政需要の増大に対処し財源確保を要求されるなど、引き続いて厳しい危機に直面しております。

地方譲与税 74,000千円、娯楽施設利用税交付金 10,000千円
自動車取得税交付金 48,000千円、交通安全対策特別交付金 1,800千円
分担金及び負担金 159,367千円、使用料及び手数料 41,520千円
県支出金 218,848千円、財産収入 978千円、寄附金 360千円
繰入金 1千円、繰越金 70,000千円、諸収入 123,309千円



一般会計歳入予算

主な施策の概要について申し上げますと、農業の振興については、所得の増加を図ることを考慮し、ほ場整備など土地改良事業を積極的に進め、土地利用の高度化に努めると共に、経営

一般会計の予算総額は、三

百七十八万九千円で全体の二十九パーセント、一方、地方交付税は十二億八千万円(四〇・九%)、町債は四億五千五百七十万円(一四・六%)と地方交付税、町債で全体の五十五・五パーセントを占めており、町財政は地方交付税と町債に大きく依存しています。

予算のあらましを紹介します。

三月十二日から十五日間にわたって開かれた町議会第一回定例会で、昭和五十二年度の一般会計及び特別会計の予算が決りました。五十二年度の予算総額は、特別会計を合わせて四十億二千七百十二万六千円と昨年度に比べて二十一・〇パーセントの伸びです。

の近代化、安定化を推進したいと考えております。

また畜産関係では、養豚によ

る公害対策事業を町農業開発事

業団に委ね、ふん尿を乾燥肥料

化し、健康な土づくりなど作物

の生産力を高めると共に、畜産

農業所得の増大のため

土地改良により近代化を

農家の環境整備を行い河川等の

浄化等に努めたいと存じます。

土木建設事業の推進について

は、五十一年度に引き続いて、

整備計画に基づき緊急の度合等

を十分検討いたしまして、道路

の新設改良、舗装等を積極的に

推進していく考えでございます。

商工観光では、地域性と資源

価値を考慮し、開発の指導等に

努めると共に、諸施策について

は、関係者等の意見を検討し、

慎重に考慮したいと存じます。

教育の充実改善については、

父兄負担の軽減と教育内容の向

上を図るために、教育機器の導入、

教材教具の充実を図ると共に、

環境整備等にも配意し、また施

設関係では、吉生小学校校舎の

建設を継続事業で着手すると共

に、小学校の水泳プールも一校

建設したいと考えております。社会教育では、社会団体活動を強化し、心身共に健康な町民の育成を図るために各種成人学級等を奨めて行く方針です。

保健体育の振興では、総合運

動場の建設を促進し、逐次年次計画で整備充実を図つてまいりたいと思います。

生活環境の整備では、健康で文化的な生活環境を確保するため広域行政の中でもゴミ処理施設、し尿処理施設、火葬場の整備等の事業を進め、清潔で健全な町づくりに成果を挙げつつあります。

簡易水道事業については、引き続き事業を促進し、健康維持のために努力を続ける所存です。

地積調査については、国土調査法に基づき五十二年度から継続事業で整備促進すべくその準備を進めていく次第です。

福祉の充実は、住民もそれぞれの立場で自覚して行動することができより重要なことは考えられます。町民の幸せを図るべく福祉

行政の実現に必要な諸条件の整備・改善に努めたいと考えております。

と吉生小校舎の新築も

総合運動場の建設推進

と相俟つて扶助費、在宅重度心身障害児福祉手当等の支給を配慮し、また保育の充実をめざして保育児の定数増を図ると共に、保育内容の検討と整備充実に努めてまいりたいと存じます。

国民健康保険事業につきましては、増大する被保険者負担をできるだけ軽減を図りながら、慎重を期して執行に当つて行く

国民健康保険事業は

保険負担の軽減を

考えてございます。

町民の健康管理については、町民一人一人の自覚と協力により維持増進に努めなければなりませんが、生活の多様化に伴なう保健衛生行政の需要に対応し、保健婦等の機能充実を図り、成

人病、結核などの疾病予防、母子、老人などの健康保持を推進いたす考えです。特に、現在大きな問題となつております歯科診療施設の拡充については、早急に対策を考え努力したいと考えております。

また、夜間休日診療施設につきましても、一層の努力を傾注したいと考えております。

以上新年度の施策の概要について申し上げましたが、これらの施策を推進し、調和のとれた位老人クラブの育成など、お年寄りの老後の生きがいと幸せの確立に努めたいと存じます。

児童福祉では、国・県の施策

議会費 56,359千円、総務費 457,277千円
衛生費 129,404千円、商工費 45,407千円
消防費 136,199千円、災害復旧費 15,462千円
公債費 101,121千円、予備費 5,000千円



一般会計歳出予算

生まれた時に支給される助産費一千二百万円、お母さんが母子手帳の交付を受け医者にかかる時、本人負担の三割を町がかわって負担する妊産婦医療手当金百四万円などがまかなわれます。

簡易水道特別

会計の予算総額は、歳入歳出それぞれ一億六千九百六十円であります。

歳入では、町債が五千三百五

十萬円、みなさんの水道使用料

収入が一千三百四十四万八千円、

加入者の負担金が一千八百二十

八万六千円、国及び県からの補

助が四千三百十万二千円、一般

会計よりの繰入金が三千三百六

十七万四千円。歳出では、戸の

内地区の布設工事費一億一千二

百五十二万円が主なもので

あります。

菊地四郎顕彰・社会福祉基金

特別会計の予算総額は二百十

八千円で、よい子・よい母など

の顕彰及び表彰の費用に四十七万円、重度心身障害者、寝たきり老人の見舞金として百四十八万円の支出が主なもので

費二千八百六万円、子どもが

算総額は、歳入歳出それぞれ七億三千二百八万七千円です。国保税による収入二億八千五十三万円（三八・一%）国庫支出金四億二千五百八十八万四千円（五八・〇%）など

によつて、みなさんが医者にかかるた時医療費の七割を町が負担する療養諸費六億一千二百七十九万三千円、みなさん

が三万九千円以上の医療費を支払つた時、この三万九千円以上を町が負担する高額療養費二千八百六万円、子どもが

いて申し上げましたが、これら

の施策を推進し、調和のとれた

位老人クラブの育成など、お年

寄りの老後の生きがいと幸せの

確立に努めたいと存じます。

児童福祉では、国・県の施

52年度町予算の使い道

一般会計歳出予算は、農林水産業、教育、土木、民生費で全体の69パーセントを占めています。予算額 31億2,870万円はどんなところに使われるのでしょうか――。

52年度の予算は、次のようなところに使われます。

ガードレール設置等交通安全対策	5,350千円
地積調査	10,744千円
参議院議員選挙	3,500千円
老人家庭奉仕員派遣等老人福祉対策	17,487千円
老人医療扶助（70歳以上町負担分）	62,290千円
乳児、重度心身障害者等医療扶助	18,695千円
児童手当	48,060千円

保育所運営	198,083千円	園芸振興対策	8,456千円
各種予防接種・検診等	11,237千円	太田地区簡易水道事業	42,800千円
し尿処理組合負担金	20,955千円	林道開設事業	65,538千円
ゴミ処理場及び老人センター運営	32,989千円	道路整備事業	466,250千円
ライスセンター及び酪農団地建設等農業構造改善事業	51,960千円	広域消防	95,000千円
家畜し尿処理対策事業等	21,010千円	貯水槽工事等施設費	14,260千円
農道舗装工事	113,000千円	消防団運営	26,494千円
土地改良事業補助	86,550千円	小中学校教育振興対策	13,110千円
		小中学校教材等備品購入	35,496千円
		吉生小学校校舎及びプール建設工事	95,500千円
		小中学校補修等工事	7,319千円
		総合グランド建設	42,280千円
		地方債償還	101,821千円

老人居室整備資金
限度額80万円に
通りです。
可決された主なものは次の
通りです。

果いざれも原案通り可決されました。

議会から

52年度の町会計予算など議決に

3/12～/25 町議会第1回定例会



芦穂七号線道路改良工事の第
三工区（全長二八〇M）の請負
契約を競争入札によって柿岡の
中村組と結びました。契約金額

芦穂七号線
三工区の契約結ぶ

度額を七二万円から八〇万円に
引き上げました。
この制度は、六十歳以上の老
人と同居している家庭に対し、
老人の専用居室を増改築する場
合に経費の一部を貸付けるとい
うもの。償還期限は資金交付の
翌月から十年以内、金利は年五
パーセントです。くわしくは福
祉課でおたずねください。

畜産の環境整備に

七割五分の補助金を交付

近年、家畜のふん尿など畜産

公害が社会問題となり、経営の規模拡大を目指す農家にとって大きな疎外要因となっています。

そこで、町では環境汚染を防止し、また、畜産経営を行なう農家の経営の合理化、高能率化を進めるために畜産経営環境整備事業を実施中です。

この事業は、特に八郷町が県の指定を受け、国の補助によって実施するもので、飼料畑などの基盤整備や共同利用のふん尿の処理施設などを作る場合に七五パーセント近くの補助を出し、畜産経営の振興をはかるものです。補助の対象となるのは

○基盤整備事業（補助率七五%以内）

・草地・飼料畑等の造成整備

・畜舎の移転用地の造成、道路
國民年金の保険料が四月から月額二千三百円に引上げられます。これは、物価スライドを二

保険料が引上げ

よくするためにも、ご協力を

お願いいたします。

用排水施設の造成整備
・肥培かんがい施設（定置式）

○ふん尿処理施設（補助率 $\frac{2}{3}$ 以内）

・共同利用としての乾燥処理施

設置をする場合で、特にふん尿処理施設を建設する場合には、町からも一〇パーセント以内の補助を予定しています。

草地・飼料畑などの造成整備の場合は、一団地〇・二ヘクタールから補助の対象となります。

くわしいことは経済課へお問い合わせください。

スポーツ振興審議会委員

体育指導委員きまる！

任期満了に伴う町スポーツ振興審議会委員及び体育指導委員

が、去る三月二十二日に開かれた教育委員会で選任されました。

任期はいずれも四月一日から

二年間で、体育行政の振興・指

導に当ります。

選任された委員は次の方々で

す。

△スポーツ振興審議会委員

桜井隆一（体協副会長・柿岡）

大団信一（体育指導委員・中戸）
鈴木武夫（助役・下林）山里茂徳（学校代表・柿岡中学校）鈴木修照（公民館長・瓦谷）中村謙一（町議会議長・柿岡）太田豊（学識経験者・柿岡）

△体育指導委員

大団信一（球技一般・中戸）
倉田展郎（球技一般・東成井）
海老沢駿也（野球・柿岡）谷島重洋（庭球・宇治会）高橋浩一（弓道・大増）名取不二夫（陸上・下林）友常満登（剣道・月岡）戸下せん（体操・小幡）原田錦吾（オリエンテーリング・半田）原田文男（野外活動・半田）富田繁穂（サイクリング・下林）市川稔（柔道・南中学校）関豊一（ボル・柿岡）金沢宏（水泳・柿岡）

は一、五〇〇万円です。
同線は、五十三年度までに全線の改良を終る計画で、五十二年度も引き続き約一、一〇メートルの区間を整備する予定です。

消防団員の報酬を引上げ

郡内消防団員の報酬基準額の統一に伴ない町消防団員の報酬別表のように平均二四・一七パーセント引上げました。

町各会計予算決る

五十二年度の町各会計予算が決りました。総額四十億二千七百十二万円です。くわしくは二ページをご覧ください。

簡易水道事業

太田地区で簡易水道事業を

実施するために町分担金徴収条例及び簡易水道事業給水条例の一部を改正しました。

太田地区の簡易水道事業は、農村基盤総合整備バイロット事業のなかで実施するもので、総事業費は四、二八〇万円によ

びます。工事は五十二年度中に行い、来年の四月には給水を始めると予定です。同事業の一戸当たりの加入者負担額は六五、〇〇円です。

歳入歳出の予算にそれぞれ六八万三千円を追加し、予算総額を三〇億一六五万八千円としました。
歳入では、町税八五〇万円、道路改良工事等国庫負担金及び補助金一、五五三万円、町債三、一六〇万円などが補正増。娛樂施設利用税交付金五〇〇万円、地方交付税二、四八〇万六千円、などが補正減。

歳出では、老人医療費六一〇万円、土地改良事業補助金三三〇万円、団体営業整備事業補助金三〇〇万円、道路改良工事費二、二〇〇万円、土木災害復旧費一、一六二万三千円、農道舗装工事費一、四七八万八千円、県営土木工事地元負担金一、二〇〇万円などを補正減しまし



熱心に討議する第3分科会

○地域によってかなりの格差があるが、葬祭の簡素化については、ふこうつかいの廃止、部落内香

○下青柳、東成井の両田園都市部落は、特に徹底した取り決めをし、守られている。

○柿岡地区公民館のアンケート調査によると、八〇パーセント以上の住民が改善を希望している。

改善を希望
80%以上が

盛籠もボスター利用を

以上の実施状況、反省点の上にたって、今後の推進方策に向にある。

○花輪の制限によって、盛籠（フルーツリング）が増える傾向にある。

旧来の因習、慣例、部落住民感情等が根強く残つており、生活改善の完全実施をばん

○花輪、くだもの籠、弔旗などの制限については、当家と葬儀にたずさわる責任者との合

守られている。
典返しの廃止、花輪、弔旗の制限などが取り決められ、九〇パーセント以上が

典返しの廃止、花輪、弔旗の制限などが取り決められました。

○盛籠の簡素化については、花輪とは別に盛籠用ボスターがつくられたので、農協から買

い求め、改善のためにはいに

紹介

冠婚葬祭の簡素化

部落、地区の取り決めを

町全体の統一へ！

郷土をよくする研究集会・第三分科会

先月号につづき、今月は第三分科会の話し合いの一部を紹介します。

第三分科会は、いま地域でいちばんの関心事である「生活改善の推進」という研究テーマで行われました。

まず、冠婚葬祭の簡素化については、各地区ごとに昭和五十年度の取り決め事項の実施状況が発表されました。

○しかし一方では、守られている。

○町外者の扱いについては、礼状に印刷したり、貼り紙等で利用すべきである。

○花輪、くだもの籠、弔旗など

○の制限については、当家と葬儀にたずさわる責任者との合議で、事前に趣旨を関係者に伝え、理解を得て協力してもらうこと

○地区、部落とかの実施でなく町全体が一つの方針に従つて強力に推進していく時期にきて

ているのではないか。

○区長会や各種団体、行政機関の関係者で、生活改善推進委員会のようなものを作つて推進していくことが今後の課題である。

○いずれにしても、冠婚葬祭の簡素化をはじめとする「生活改善」は時代の要望であり、無駄を省くという観点にたつた簡素化運動は、一層すすめなくてはならない。



公民館図書 (2)

公民館図書の貸し出し期間は1カ月までです。どなたでも借りることができますので、一度ご覧ください。

書名	著者名
星がゆれる時	子郎 雄二一孝郎吉助郎訳 厚治無子郎子吉郎信一郎訳
青空の如く	津村 節一文健誠義三由之一高英十聖三豊重一誠太吉郎訳
運命	山村 手羽丸森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司馬遼房
火山の大都会	丹羽山村田岡井木井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
甲子園への道	丸森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
椅子なき管理職	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
聖(ひじり)	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
虚構の祭典	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
黄金の言葉	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
UFO大接近	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
幻のささやき	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
大いなる夜明け	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
隅田川夢浮橋	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
休暇は終った	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
落日燃ゆ	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
不毛地帯	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
砂漠の空	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
青あ	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
虚空海の風景	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房
鉄板面の秘密	森義松古黒亀吉井野口葉水辺山崎岩手山灰森司佐藤房

社会教育指導員の綿引佐登先生の任期満了に伴ない、後任に大関きよ先生が四月一日から就任しました。大関先生は、主として婦人学級

健康、体力づくりに

町民体育の振興を!

△スポーツに関するアンケート調査から△

〈シリーズその2〉

先月号につづき「スポーツに関する調査」のアンケート結果を紹介します。

△アンケート事項△

あなたはスポーツ用具を持っていますか、現在持っているものと将来持ちたいものに分けたてください

〔将来持ちたいもの〕

○男 子▽ 九・〇%
○ゴルフ用具 八・二%
○スキーや用品 七・〇%

○つり道具 キヤンブ用具の順
○サイクリング車 四・七%
以下剣道防具、ヨット・モー
ターボート、テニスラケット、
△女子▽ 一六・九%
○サイクリング車 五・〇%
○バレーボールなどのボール五・〇%
○テニスラケット 四・〇%
以下スケート靴、ヨット・モ
ーターボート、弓・アーチエリ
ーの順

男子は各地区ともゴルフ用具、スキーや用品、つり道具の希望が多く、柿岡・小桜・恋瀬・園部地区からヨット・モーターボー

トを持ちたいという希望が出た。

女子は、柿岡・園部・恋瀬地区からスキーや用品、柿岡・林・芦穂地区からサイクリング車の希望が出た。

あなたは学校体育施設がスポーツ団体に開放されていることを知っていますか

○知らない 五五・三%
○知っている 四四・七%

体育施設開放の認知度は各地区とも高い。男子では五六・三%、女子では五一・五%を示している。

あなたは学校体育施設を利用したことがありますか

○ある 三三・二%
○ない 六六・八%

利用度は各地区とも三割程度であるが、男子で三五・四%、女子で二四・八%である。

前回あると答えた人は、どんな目的で利用しましたか

○スポーツ活動をするため
○知らない 二七・〇%

男子で二四・八%ある。芦穂地区を除き、男子はスポーツ活動をするために利用した

人が三〇%台が多いが、女子は平均一九・八パーセントと低い。
ないと答えた人は、どんな理由で利用しなかったのですか

○スポーツをしないので
○利用する方法を知らないから
○近くにないから 一二・五%
○その他 九・二%

えたのは、園部地区の女子(二五・〇%)、小桜地区の男子(二二・二%)、恋瀬地区的男子(二四・二%)に多く見られた。

近くにないからと答えた人は、男子では園部地区(二一・九%)、小幡地区(二二〇・〇%)、女子では芦穂地区(二二〇・〇%)、小幡地区(一八・二%)に多く見られる。

あなたは学校体育施設開放についてどのように思いますか

○望ましい 七三・〇%
○わからない 二三・五%

条件を整備し、学校教育に支障のない範囲で開放するのが望ましい

○开放すべきでない 四・五%

あなたは八郷町体育協会が設置されていることを知っていますか

○开放すべきでない 四・五%

あなたは八郷町体育協会が

女子四六・五%でした。

健康・体力づくりのための

町民体育についてどのように思

いますか

○盛んにしたい 八〇・五%
○わからない 一八・四%
○盛んにしたくない 一・一%

あなたの
スナップ

「卒業式の別れ」

撮影者 富田政勝

(吉生・15歳)





三月二日、優良子ども会と指導者の選奨式が行われ、柿岡の荒宿子ども会など十一の子ども会と六人の父兄らも会と指導者として表彰を受けた。△優良子ども会（上山やまゆり子ども会）芦穂小見子ども会（恋瀬）荒宿・古館子ども会（大増）小塙子ども会（瓦会）カナリヤ子ども会（園部）向原子ども会（東成井）前島子ども会（林）川又東部子ども会（小桜）辻子ども会（朝日）△優良指導者（柿岡）羽生威（上青柳）須藤征紀（猪内）藤岡忠夫（小見）川田正（瓦谷）飯田範子（下林）



■寄贈

○小幡保育所へ鉄骨屋根付砂場（十万円相当）
○小幡保育所へ雑布五十枚
小幡 鈴木政美

明日への願いをこめて

成人者 さくらの木、を植樹

3月20日、ことし成人式をむかえた人たちによる記念植樹が、峰寺山の探索車道で行われました。参加したのは約20人の人たちで、さくらの苗木30本が明日への願いをこめて道路沿いに植えられました。



荒宿子ども会

表彰をうける

三月二日、優良子ども会



も会と指導者の選奨式が行われ、柿岡の荒宿子ども会など十一の子ども会と六人の父兄らも会と指導者として表彰を受けた。△優良子ども会（上山やまゆり子ども会）芦穂小見子ども会（恋瀬）荒宿・古館子ども会（大増）小塙子ども会（瓦会）カナリヤ子ども会（園部）向原子ども会（東成井）前島子ども会（林）川又東部子ども会（小桜）辻子ども会（朝日）△優良指導者（柿岡）羽生威（上青柳）須藤征紀（猪内）藤岡忠夫（小見）川田正（瓦谷）飯田範子（下林）

このバラ賞は、「眞の豊かさを求める県民運動」の一つとして今年からもうけられたもので、豊かな地域づくりのために貢献した団体等を表彰するというものです。

下青柳集落では、昭和四十四年より田園都市建設事業を実施して田園都市センターや共同霧園を建設しており、事業の趣旨にそつた生活改善を

町村行脚に挑戦した。谷萩さんは、三月二日の午前

自転車で成田や日光まいりを行なうなど、老いてますます元気な鯨岡の谷萩貞次（73）さんが、今度は自転車で「県下九十二市町村行脚」に挑戦した。谷萩さんは、三月二日の午前

十九時の朝、笠間市役所を最後に十七日間で無事計画を成就いたしました。

ながら県下をぐるりとまわり、十九日の朝、笠間市役所を最後に十七日間で無事計画を成就いたしました。

谷萩さんは、九十二の市町村をまわったことを証明するため、行く先々で市町村長の印をもらってきており、九十二個の印が並んだその証明書は実にみごとなものです。

谷萩さんが成田、日光につづき

「県下92市町村行脚」に挑戦

谷萩さんは、九十二の市町村を持っています。いい記念になります。約二二〇〇キロを走りましたが、体はどこも痛いところはない。まだ走れます」と谷萩さんは語ります。元気なところを見せていました。

今度の計画は、体力をためすために行ったということです。すばらしい谷萩さんの快挙に拍手を贈りたいと思います。

下青柳集落の生活改善

知事からバラ賞うける

下青柳集落の生活改善委員会（代表高橋琳三）が、このほど茨城県知事より「バラ賞」の表彰を受けました。

このバラ賞は、「眞の豊かさを求める県民運動」の一つとして今年からもうけられたもので、豊かな地域づくりのために貢献した団体等を表彰するというものです。

谷萩さんは、九十二の市町村をまわったことを証明するため、行く先々で市町村長の印をもらってきており、九十二個の印が並んだその証明書は実にみごとなものです。

谷萩さんは、九十二の市町村をまわったことを証明するため、行く先々で市町村長の印をもらってきており、九十二個の印が並んだその証明書は実にみごとなものです。

谷萩さんは、九十二の市町村をまわったことを証明するため、行く先々で市町村長の印をもらってきており、九十二個の印が並んだその証明書は実にみごとなものです。



4月奥久慈ハイキングに参加の一一行

「サークル」紹介

南青年団

今月は久しぶりにサークルの紹介をしましよう。

衰退しかかつた青年団が各地の有志により強化され、再び活動を始めて久しくなりますが、今年の成人式で余興に演劇を披露するなど、活発な活動を続けている南青年団を訪れてみまし

た。南青年団は、小幡と小桜地区の青年たちによって組織された会協力、十一月小幡小桜地区的文化祭協力、十二月青年のつどい参加・クリスマスパーティー、成人者祝賀会、一月スケート大会、三月宿泊研修」と実にりっぱな活動をしているのには驚きました。

団員の一人に尋ねたところ、スポーツの祭典での総合優勝、それ

も日曜か夜になってしまいます。特に女子は父兄の理解がなければ活動ができないので、ご理解をお願いしたい」と、サークル活動の問題点も語ってくれました。

南青年団は、このように自身をみがくために、積極的な社会奉仕や文化活動を行っています。南青年団の今後の活躍が楽しみです。

男女とも二〇名ずつのサークルです。

毎週土曜日の夜が定例会で、南中の体育館に集り、いろいろな行事の打

もらえてとてもうれしかったと語っていました。

南青年団では、社会奉仕活動も活発で、ここ数年来続いている敬老会へのお年寄りの送迎も、地域のみなさんについへん喜ばれています。

サバの炒めみそ煮

小塙 比企たま子

（作り方）

わが家では、格安で油の多いサバを上手においしくいただくように、こんなふうに変化をつけたみそ煮をしていま

す。

お宅でも一度ためしてみませんか。

（材料四人分）

(1) サバ切身四切、小麦粉少々、塩少々、酒少々。

（2）だし汁一カップ、みそ大一（自家）一二買）、砂糖大一酒大一、しょう油一小一。

先にサバの水気を取り小麦粉をまぶす。フラン

パン以上は動かなくなります。これも更に放ておくと、関節と関節の骨と骨がくっついてしまいます。

老人ほどその変化が急速に、しかも高度に現われる所以早く予防処置を必要とします。

そこで、初期の看護で最も大切なことは、「良肢位」といって図のようにすることです。

マヒのある方の上腕を十分外側に開き、腋の下に大きめの枕

（1）を当て、ひじは九〇度にまげて手首の方にそらし、手に直径約一〇センチ位にまるめたタオル（2）を軽くにぎらせる。マヒした手や足はむくみやすいので、肩よりもひじ、手、指が高くな

なくてはなりません。寝つきで手足の関節を動かさず長い間放つておくと拘縮といって関節を動かそうとする痛みが起り、ある範

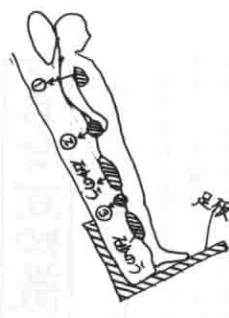
保健婦の健康メモ

（4）

脳卒中患者の家庭看護

機能障害を残さないため、できるだけ早くリハビリテーション（社会復帰訓練）を始めなくてはなりません。

寝つきで手足の関節を動かさず長い間放つておくと拘縮といって関節を動かそうとする痛みが起り、ある範



八郷町農業委員会委員のうち
欠員となつてゐる第二選挙区(一
小幡地区)の立候補受付が、四
月十二・十三日の両日役場で行
われました。

その結果、欠員一名のところ
立候補届出者は上青柳の桜井好
一さんになりました。

心配ごと相談日は 毎週木曜日

(場所 八郷公民館)

農委の補欠選

（五十二歳）さん一人でした
ので、無投票となり、十九日の
選挙会において当選が決定しま
した。桜井さんのこれから活動を
期待します。

桜井好一さんに決る

八郷町農業委員会委員のうち
欠員となつてゐる第二選挙区(一
小幡地区)の立候補受付が、四
月十二・十三日の両日役場で行
われました。

その結果、欠員一名のところ
立候補届出者は上青柳の桜井好
一さんになりました。

<県指定有形文化財>

山県大式の墓

指定年月日 昭和10年11月26日



文化財散步

根小屋の泰寧寺に山県大式の墓がある。

勤王の志士山県大式は甲斐の出身で、江戸に出て兵学を教えていたが幕府に捕えられ、明治四年（一七六七年）四三歳で処刑された。その時、門弟であった根小屋の園部文之進は、小塚原にさらされた大式の首をうばつて自宅の墓地に埋めた。

現在の墓は、明治に入つて改葬されたもの。

戸に出で兵学を教えていたが幕府に捕えられた。その時、門弟であった根小屋の園部文之進は、小塚原にさらされた大式の首をうばつて自宅の墓地に埋めた。

現在の墓は、明治に入つて改葬されたもの。

危険物取扱者試験が 六月十九日に

さい。くわしい点については、
総務課でおたずね下さい。

祝電はお早めに！

乙種（全類）および丙種の危
険物取扱者試験が六月十九日に
実施されます。

受験希望者は、申込用紙が総
務課消防係、広域消防八郷分署
にありますので、写真等を添え
ますので、写真等を添え
所三階小会議室まで提出して下

がされています。

お祝い電報は十日前から受付
がされています。

大安日や休日は混みあいます
ので、配達日指定でお早めにお
申込みください。

配達日の三日以前にお打ちに
なりますと、一五〇円割引にな
ります。

（電話局）

やまと文書

短歌 吉田次郎選

春の陽にものの影みな濃くなりて水底搖る水の影あり

卒いてはや久しきものを学び舍に桜かの日のままに耀う

日のひかりかがよう野辺に佇めば春風すがしく心を揺する

苗床に背をこすりあるおじけ犬

畦焼いて筑波の暮色深めけり

梅一枝さして集会の人を待つ

した。桜井さんのこれから活動を

躍を期待します。

俳句 滝田玉水選

大増 青木祥太
東山崎 荒井岳山莊
瓦谷 桜井紅霞功

大増 青木村莊
入江君子
鬼沢功

俚謡 大木嶺月選

大増 青木村莊
東山崎 荒井岳山莊
島田貴美子
桜井紅霞功

大増 青木村莊
入江君子
鬼沢功

ふえている「カブレ」

春の訪れを感じる頃になりますと、皮膚のトラブルも多くなつてきます。その原因としては、(1)皮膚の新陳代謝が活発になり、冬の間静止していた皮膚病が再発・悪化する。

(2)皮膚表面の湿度、温度が上昇し菌やカビが繁殖しやすくなる。(3)外出や集会の機会が多くなり皮膚病に感染しやすいなどが考えられます。

また、最近ふえている皮膚病に接触性皮膚炎があります。接觸性皮膚炎はいわゆる「カブレ」のこと、ある物質が皮膚に接觸して反応をおこすものです。昔はカブレの代表的なものはウルシカブレでしたが、最近では化粧品、衣料、皮革、金属、薬品など、カブレの原因是物質文明の発達とともにふえています。症状は発赤、湿疹、かゆみ、ほどり、ピリピリ感ですが、治療方法は原因物質を遠ざけ、専門医の治療を受けることです。

一般的には、アルコール、香辛料などの刺激性の食物をさけること、また炎症のひどい時は入浴をひかえめに、石けんやタオルでこすることは止めましょう。

ぐらじゅ豆知識